



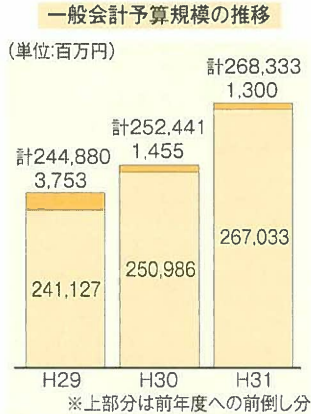
市民参加型 市政づくり

民主・無所属の会会報

発行所

鹿児島市議会民主・無所属の会議員団
〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号
TEL・FAX099-224-7353 内線4061・4062・4063
mail:minyu-01@kagoshimashigikai.com

鹿児島市議会議員
さんたんぞの
三反園 輝男
議会報告



平成31年度当初予算は過去最高の2670億円としました。

一般会計予算

平成三十一年第一回鹿児島市議会定例会は二月十二日から三月二十日まで開催されました。提案された平成三十年度の補正関係議案二十件、三十一年度当初予算ほか八十件を原案どおり可決・同意して終了しました。

主な民主・無所属の会の代表質疑と三反園議員の個人質疑は裏面の通りです。

平成三十一年第一回定例会終了

主な新規事業

鹿児島市体育協会 法人化準備負担金

(10,752千円)

市民のスポーツ・レクリエーションに対する機運や関心を持続させ、本市における体育・スポーツの更なる普及・振興を図るため、本市体育協会の法人化に向けた準備を行います。

家庭ごみの高齢者等 戸別収集サービス

(2,061千円)

家庭から排出されるごみ・資源物を自らごみステーションに運ぶことが困難な高齢者及び障害者等を対象に、戸別収集を行います。

高齢者の健康長寿への支援

・高齢者すこやか温泉講座開催
(2,769千円)

・介護サービス事業所活用支援事業
(612千円)

公衆浴場において温泉や健康に関する講座を開催するほか、介護サービス事業所の資源活用による高齢者を取り巻く地域課題の解決を支援します。

障害者・児相談支援専門員 配置促進事業

(36,000千円)

新たに相談支援専門員(常勤専従)を増員する事業所に対し、経費の一部を助成します。

幼児教育無償化事業

(450,909千円)

幼児教育の無償化により、認可外保育施設等の保育施設(サービス)利用者の負担軽減を図ります。

発達障害児等家族支援 補助事業

(6,000千円)

児童発達支援事業所等が保護者に対して、グループ講習等の集団支援や居宅訪問等の個別支援を実施した場合に経費の一部を助成します。

観光情報多言語化

モバイル活用事業
(17,128千円)

外国人観光客等の利便性向上

を図るため、二次元コードを使って、モバイル端末で観光施設の多言語解説動画等を閲覧できるサービスを提供します。

【対象施設】
平川動物公園、かごしま水族館、観光オブジェ

海外販路拡大 ステップアップ支援事業

(2,511千円)

海外への販路拡大に取り組み本市の中小企業者に対し、翻訳を伴う海外向け商品パッケージや販促資材の作成及び外国語版ホームページの作成に係る経費の一部を助成します。

国体等おもてなし事業

(13,962千円)

鹿児島中央駅東口駅前広場に特設観光案内所を設置するとともに、観光PRキャラクター「西郷どん」を活用し、受入体制の充実を図ります。

かごしま近代文学館

・メルヘン館及び美術館
駐車場整備事業
(70,821千円)

来館者の利便性向上のため、利用者専用の駐車場を整備します。(31年12月供用開始予定)

主な代表質疑

問 サッカー等のスタジアム整備にあたり、県当局に何を期待され、どんな役割を望むのか、民間へ求める協力と期待は

答 整備場所の選定を含め、県と市が連携を図りながら、実現に向けて取り組むことに合意したところであり、早期にスタジアム整備が実現するように、県と一体となった取組を進めてまいりたい。また、企業や市民などオール鹿児島での取組を進めてまいりたい。

問 県の新総合体育館整備に関しては、来場者8千人、自動車分担率24.6%、一台当たりの乗車人員1.5人という設定条件で計算した交通量1,312台と現在のピーク時交通量を合わせたと仮定して渋滞は生じないとされている。この設定条件には無理があるのでは

答 交通への影響分析や道路拡幅の検討にあたって、仮定した数値について不明な点があることや、平日の交通量による分析のみであること、JR九州の開発が考慮されていないことなどから、設定条件や分析結果などの具体的な考えを県に対して示して頂くよう要請したところである。

問 主要3基金である、財政調整基金・市債管理基金・建設事業基金に対する考えは

答 財政調整基金は各年度間の財源の調整を図り、建設事業基金は大規模な建設事業に、市債管理基金は市債の償還及び市債の適正な管理に必要な財源を確保するために設置しており、厳しい財政状況の中、年度間の財源調整機能を果たせる額の確保に努めてまいりたい。

問 学力向上のため指導法改善への対応は

答 業務改善に努める中で、ICT機器の更なる活用等を含め、教職員の授業力向上を図るなど、学力向上に取り組んでまいりたい。

問 外国人の技能実習生が働く職場及び人数は

答 ハローワークがごしま管内における、平成30年10月末現在の技能実習生を雇用する事業所及び人数は132事業所、902人である。

問 橋りょう長寿命化修繕計画を進めるための若い技術者の育成と見直し後の取組は

答 計画推進にあたっては、点検、補修に関わる技術系職員、補修を行うなど、技術員、技術者の現地研修を行うなど、技術力向上を図るとともに、優良財

源等を確保しながら早期の橋りょう補修に努めてまいりたい。

主な個人質疑

問 温室効果ガス総排出量の基準年度の1990年度から2013年度への変更理由は

答 東日本大震災後のエネルギーミックスとの整合やパリ協定を踏まえ、国が新たに設定した中期目標の基準年度に合わせ変更したものである。

問 温室効果ガス削減目標の直近の達成状況と主な要因は

答 平成27年度が412万3千トンで、1990年度比25.4%の増となっている。これは家庭・事業所での電力使用量の増加や、火力発電による発電割合が増えたことにより、電力の排出係数が上昇したことに加え、自動車の登録台数が増加したことによるものである。

問 特別支援学級の障害種別の学級数と在籍児童生徒数は

答 障害種別では知的障害、自閉症・情緒障害、病弱・身体虚弱、肢体不自由、難聴、弱視があり平成30年度は合計で357学級に1,693人の児童生徒が通級している。

問 特別支援学級担任の特別支援学校教員免許の取得状況は

答 平成21年度が40.7%、30年度が44.3%となっている。

問 就学教育相談の相談件数は

答 平成21年度が254件、29年度が829件である。

問 松元地域での林道・作業道の整備状況は

答 平成22年度から林道は5161m、進捗率59%で作業道は1,010m整備しました。課題は法面の崩壊があり工事が遅れていることや、国の予算が計画通り配分されないことなどがある。

問 林道等の整備により、素材生産のコスト削減への効果は

答 林道等が整備され森林へのアクセスが改善されることで、高性能林業機械を効果的に使った作業が可能になり、素材生産のコスト削減につながるものと考えている。



いつでもお気軽にご連絡ください。

☆鹿児島市議会民主・無所属の会議員団☆

〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号

TEL・FAX 099-224-7353 内線4061・4062・4063

mail:minyu-01@kagoshimashigikai.com

